

2021年12月期 第3四半期決算説明会

(第3四半期決算補足説明資料)

2021年11月11日
株式会社キッツ

【注意事項】

本資料に記載されている当社及び連結子会社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。

1 第3四半期決算の概要

2 通期業績の見通し

-補足データ-

1 第3四半期決算の概要

2 通期業績の見通し


－補足データ－

決算期変更について


2020年12月期より、決算期を3月末から12月末に変更。2020年12月期は、9ヵ月の変則決算となった。

本資料では、2020年12月期第3四半期(4-12月)ではなく、2020年1-9月を「前年同一期間」として算出した参考数値(監査対象外)と比較している。

決算期	2020年3月期				2020年12月期				2021年12月期			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
3月決算会社 (国内Gr会社)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
12月決算会社 (海外Gr会社)	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q



前年同一期間



当期

2021年12月期 第3四半期 業績

単位(百万円)

	2020年 1-9月 実績	2021年 12月期 3Q計画	2021年 12月期 3Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	86,691	96,510	97,847	11,156	12.9%	1,337	1.3%
内、バルブ事業	72,329	76,373	76,942	4,613	6.4%	569	0.7%
内、伸銅品事業	13,206	19,023	19,827	6,621	50.1%	804	4.2%
営業利益 (率)	4,305 (5.0%)	5,978 (6.2%)	6,523 (6.7%)	2,217	51.5%	545	9.1%
内、バルブ事業	7,429	8,417	8,791	1,362	18.3%	374	4.5%
内、伸銅品事業	▲220	522	555	775	-%	33	6.3%
経常利益 (率)	4,642 (5.4%)	5,964 (6.2%)	6,664 (6.8%)	2,022	43.6%	701	11.8%
親会社株主に帰属する当期純利益 (率)	2,928 (3.4%)	3,216 (3.3%)	3,827 (3.9%)	899	30.7%	613	19.1%
ドル:対円	107.26	109.0	109.13				
ユーロ:対円	121.13	131.0	130.28				
電気銅建値:円/トン	670,000	1,050,000	1,040,000				

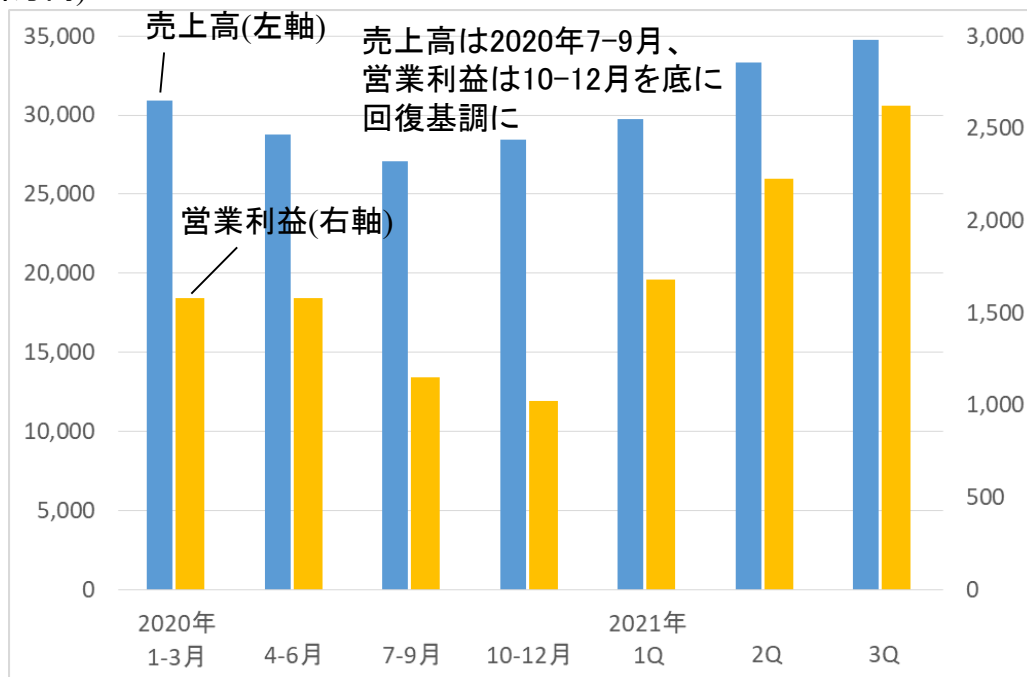
注) 売上高及び営業利益は、バルブ事業と伸銅品事業のみを表示しておりますが、合計はその他を含む連結合計であるため、一致していません。

四半期(3ヵ月)業績推移

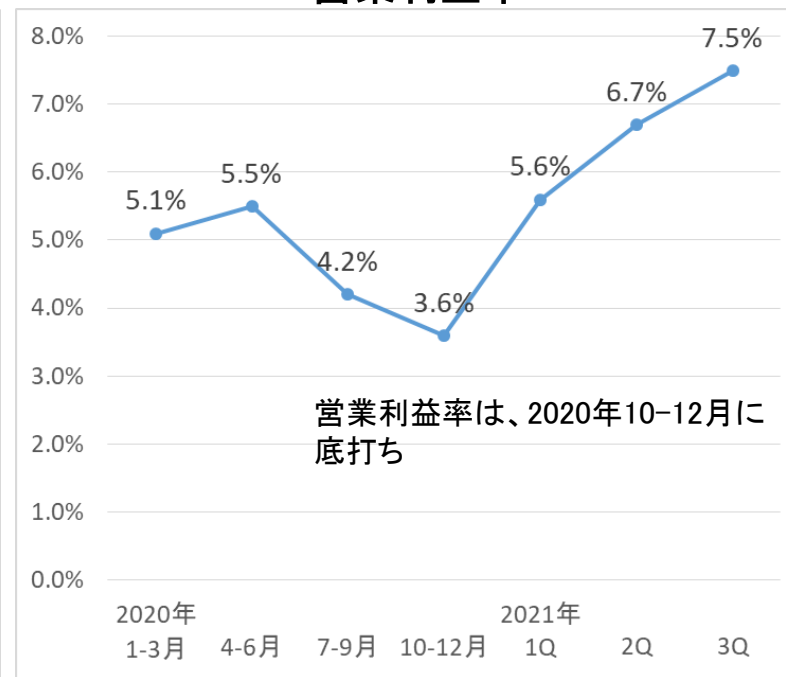
(百万円)

売上高/営業利益

売上高は2020年7-9月、
営業利益は10-12月を底に
回復基調に



営業利益率



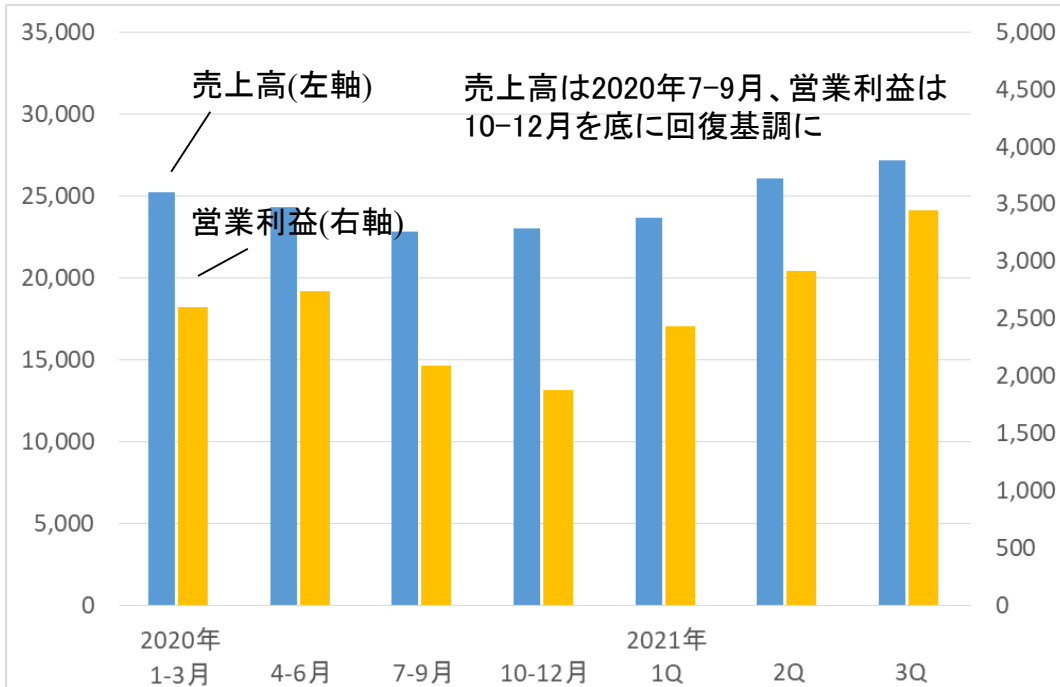
(百万円)

	2020年				2021年12月期		
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1Q	2Q	3Q
売上高	30,891	28,745	27,053	28,446	29,772	33,345	34,729
営業利益	1,577	1,580	1,147	1,023	1,677	2,224	2,621
経常利益	2,203	1,363	1,076	730	1,694	2,263	2,706
親会社株主に帰属する当期純利益	1,252	839	837	437	918	1,144	1,764
営業利益率	5.1%	5.5%	4.2%	3.6%	5.6%	6.7%	7.5%

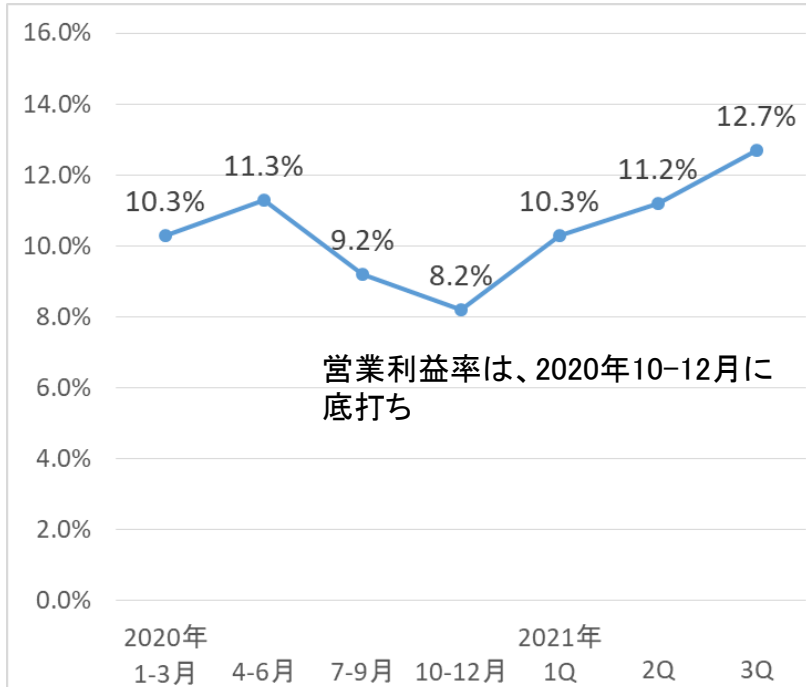
バルブ事業 四半期(3ヵ月)業績推移

(百万円)

売上高/営業利益



営業利益率



(百万円)

	2020年				2021年12月期		
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1Q	2Q	3Q
売上高	25,206	24,322	22,799	23,006	23,683	26,073	27,184
営業利益	2,598	2,739	2,091	1,877	2,433	2,914	3,443
営業利益率	10.3%	11.3%	9.2%	8.2%	10.3%	11.2%	12.7%

バルブ事業 国内売上高(市場別)

前年同一期間比17億78百万円(3.8%)増の489億51百万円。4月より始まった価格改定に伴う仮需の納入もあり、建築設備向けが2Qから高水準で推移。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、工業向けは中小の新規投資はあるものの大型物件の動きは少なく維持・更新需要が中心。水関連は、官公需が中心の上下水道向けの季節要因のほか、フィルター製品が引き続き堅調。市況の高止まりが続く半導体関連は、1Q・2Qに続き高水準を維持した。

単位(億円)

	2020年					2021年12月期				対前年	
	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月	10-12月	1Q	2Q	3Q	3Q累計	増減額	増減率
国内 合計	167	156	150	473	152	153	168	169	490	17	4%
建築設備	70	62	60	192	61	62	72	73	207	15	8%
水関連	21	17	21	59	24	20	19	22	61	2	3%
半導体関連	17	18	16	51	19	23	24	25	72	21	41%
機械装置関連	18	17	16	51	15	14	16	16	46	▲5	▲10%
石油精製・石油化学	18	17	15	50	14	16	16	13	45	▲5	▲10%
一般化学	6	6	7	19	6	6	6	6	18	▲1	▲5%
食品・製紙	5	5	5	15	5	5	5	5	15	-	-%
ガス・電力	6	5	5	16	5	5	5	5	15	▲1	▲6%
大型プロジェクト物件	7	9	5	21	4	3	4	4	11	▲10	▲48%

注) 1 各市場で採用されるバルブの材質、形状の変化やトレンドを考慮し、2018年度より各市場に集計する製品群の一部を見直ししております。

注) 2 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

バルブ事業 海外売上高(エリア別)

前年同一期間比28億34百万円(11.3%)増の279億91百万円。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、国ごとに濃淡はあるもののワクチン接種により事業活動は再開の方向。アセアンは、軟調な状況が継続するも価格改定アナウンス後に受注は増加。中国は、データセンター向けを中心とした建築設備向け、工業向けともに好調。ペリン製品の大型プロジェクト向けの売上も寄与。中国・韓国の半導体向けは、国内と同様に好調が継続している。米州は、新規投資の動きは少ないものの代理店からの在庫発注が戻り始めた。南米MGAは好調を維持。Oil&Gas向け中心の欧州は厳しい状況が続く。

単位(億円)

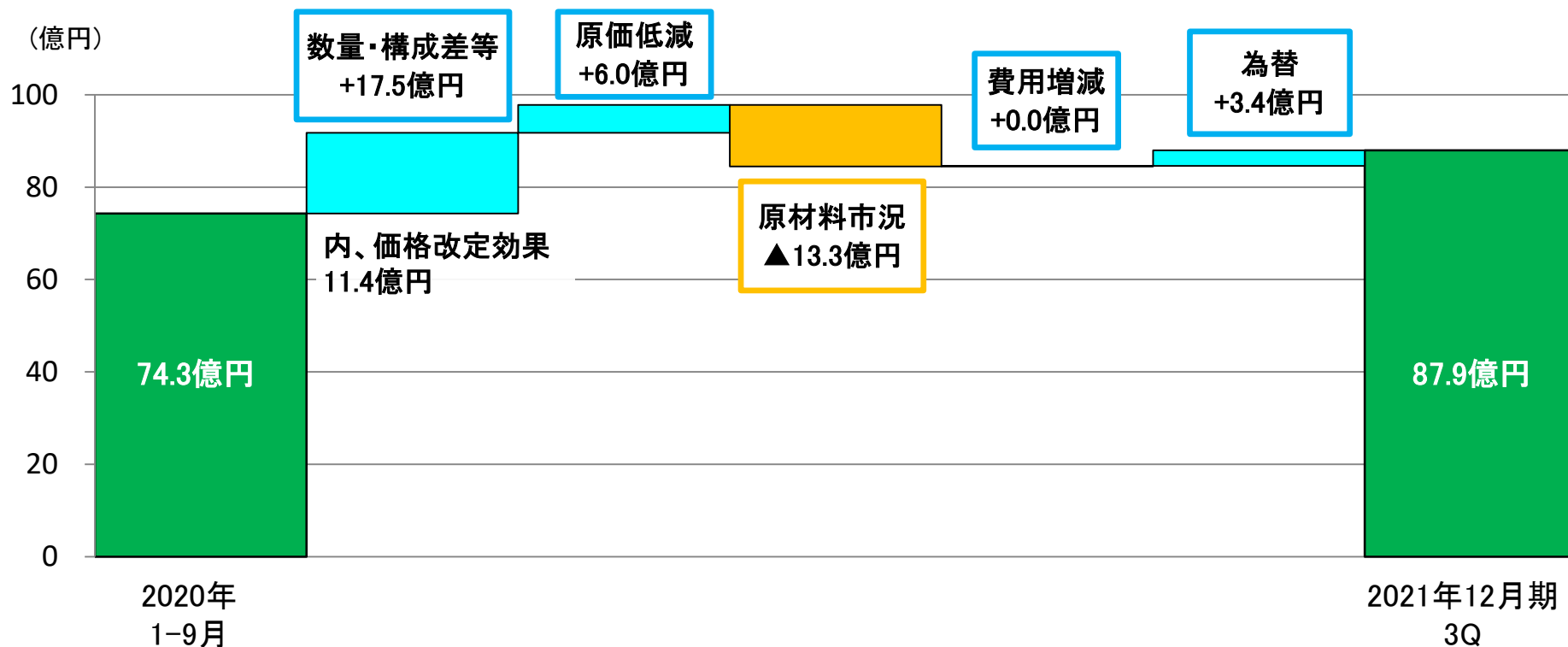
	2020年					2021年12月期				対前年	
	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月	10-12月	1Q	2Q	3Q	3Q累計	増減額	増減率
海外 合計	85	87	78	251	78	84	93	103	280	28	11%
アセアン・韓国他	29	35	30	94	29	32	33	39	105	11	12%
(内、半導体向け)	(5)	(8)	(5)	(18)	(6)	(8)	(5)	(7)	(20)	(2)	11%
中国	17	18	18	53	18	20	24	29	74	21	40%
(内、半導体向け)	(2)	(3)	(2)	(7)	(3)	(3)	(5)	(6)	(14)	(7)	100%
中東	1	2	1	4	1	1	1	1	3	▲1	▲25%
アジア計	49	56	48	153	48	53	58	70	182	29	19%
米州(北米、中南米)	26	21	21	68	21	24	27	25	75	7	10%
欧州・その他	10	10	9	29	9	7	8	8	23	▲6	▲21%

注) 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

バルブ事業 営業利益増減要因

単位(百万円)

	2020年 1-9月 実績	2021年 12月期 3Q計画	2021年 12月期 3Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	72,329	76,373	76,942	4,613	6.4%	569	0.7%
営業利益	7,429	8,417	8,791	1,362	18.3%	374	4.5%



伸銅品事業の概要

■売上高について

売価に影響を与える原材料相場は、上昇が継続。生産量・販売量はコロナ前の水準で推移。売上高は、前年同一期間比50.1%増の198億27百万円。

■営業利益について

原材料相場の上昇局面にあり、5億55百万円の営業利益(前年同一期間は2億20百万円の営業損失)。

単位(百万円)

	2020年 1-9月 実績	2021年 12月期 3Q計画	2021年 12月期 3Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	13,206	19,023	19,827	6,621	50.1%	804	4.2%
営業利益	▲220	522	555	775	-%	33	6.3%
電気銅建値:円/トン	670,000	1,050,000	1,040,000				



黄銅棒とその加工品



キッツメタルワークス 製造設備

その他の概要

■売上高について

ホテル事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続し、前年同一期間比6.8%減の10億77百万円。

■営業利益について

2億55百万円の営業損失(前年同一期間は2億94百万円の営業損失)。

単位(百万円)

	2020年 1-9月 実績	2021年 12月期 3Q計画	2021年 12月期 3Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	1,155	1,113	1,077	▲78	▲6.8%	▲35	▲3.2%
営業利益	▲294	▲230	▲255	39	-%	▲24	-%



長野県諏訪市のホテル紅や

連結営業外・特別損益の状況

単位(百万円)

	2020年 1-9月実績	2021年12月期 3Q実績	増減額	主な内訳
営業利益	4,305	6,523	2,217	
営業外収益	-	797		伸銅品事業ヘッジ差損益 ▲102(前期▲48→当期▲149)
営業外費用	-	656		
経常利益	4,642	6,664	2,022	
特別利益	-	19		有形固定資産減損損失(前期0→当期▲409) 株式評価損(前期▲100→当期0)
特別損失	-	464		
税金等調整前当期純利益	4,388	6,219	1,830	
法人税等	-	2,278		
当期純利益	-	3,940		
非支配株主に帰属する当期純利益	-	112		
親会社株主に帰属する当期純利益	2,928	3,827	899	

バランスシートの状況

流動資産は増加したものの、固定資産の減少により、資産合計は3億40百万円減少。

- 流動資産: 現金及び預金の減少 72億44百万円 売上債権の増加 45億47百万円 たな卸資産の増加 45億円
- 固定資産: 有形固定資産の減少 8億61百万円 無形固定資産の減少 12億44百万円
- 負債: 支払手形及び買掛金の増加 26億93百万円 短期・長期借入金の減少 78億11百万円
- 有利子負債は、84億98百万円減少し、408億54百万円(純有利子負債は12億54百万円減少し、143億78百万円)
- 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の増加等により、38億80百万円増加

単位(百万円)

資産の部	2020年 12月末	2021年 9月末	増減額	負債の部	2020年 12月末	2021年 9月末	増減額
流動資産	81,765	83,689	1,924	流動負債	23,332	31,489	8,156
固定資産	58,916	56,652	▲2,264	固定負債	42,182	29,804	▲12,378
有形固定資産	42,303	41,441	▲861	負債合計	65,514	61,293	▲4,221
無形固定資産	6,211	4,966	▲1,244	純資産合計	75,167	79,048	3,880
投資等	10,401	10,243	▲158	負債・純資産 合計	140,681	140,341	▲340
資産合計	140,681	140,341	▲340				

キャッシュ・フローの状況

- 営業活動CF: 税金等調整前四半期純利益62億19百万円、減価償却費49億55百万円、仕入債務の増加25億20百万円。売上債権の増加、たな卸資産の増加はあったが、50億97百万円の資金の増加。
- 投資活動CF: 有形固定資産の取得による支出26億55百万円等により、25億82百万円の資金の減少。
- 財務活動CF: 短期・長期借入金の返済等による支出78億21百万円、社債の償還による支出4億74百万円、配当金の支払11億71百万円等により、101億89百万円の資金の減少。

単位(百万円)

	2020年 1-9月実績	2021年12月期 3Q実績	増減額	増減率
営業活動CF	-	5,097	-	-%
投資活動CF	-	▲2,582	-	-%
フリーCF	-	2,515	-	-%
財務活動CF	-	▲10,189	-	-%
現金等期末残高	-	26,202	-	-%

第3四半期の主な経営指標

単位(百万円)

	連結	
	2020年 1-9月実績	2021年12月期 3Q実績
売上高	86,691	97,847
営業利益	4,305	6,523
経常利益	4,642	6,664
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,928	3,827
海外売上高比率	29.6%	29.8%
有利子負債	49,645	40,854
自己資本比率	52.5%	55.7%
BPS	-	872.5円
EPS	-	42.7円

1 第3四半期決算の概要

2 通期業績の見通し

－補足データ－

2021年12月期 通期業績見通し

単位(百万円)

	2020年1-12月			2021年12月期				【ご参考】 修正前 (8/4発表)
	1-6月 実績	7-12月 実績	1-12月 実績	1Q-2Q (上期実績)	3Q 実績	4Q 見通し	通期 見通し	
売上高	59,637	55,500	115,138	63,117	34,729	36,152	134,000	130,500
営業利益 (率)	3,158	2,170	5,328 (4.6%)	3,902	2,621	1,926	8,450 (6.3%)	8,100
経常利益 (率)	3,566	1,806	5,372 (4.7%)	3,958	2,706	1,835	8,500 (6.3%)	8,000
親会社株主に 帰属する 当期純利益(率)	2,091	1,274	3,366 (2.9%)	2,063	1,764	722	4,550 (3.4%)	4,550
ドル:対円	-	-	106.44	108.47	109.13	114.00	-	-
ユーロ:対円	-	-	121.97	130.47	130.28	132.83	-	-
電気銅建値:円/トン	-	-	700,000	1,019,500	1,040,000	1,200,000	-	-

セグメント別 2021年12月期 通期業績見通し

単位(百万円)

【ご参考】
修正前
(8/4発表)

売上高	2020年1-12月			2021年12月期				
	1-6月 実績	7-12月 実績	1-12月 実績	1Q-2Q (上期実績)	3Q 実績	4Q 見通し	通期見通し	
	バルブ事業	49,529	45,806	95,335	49,757	27,184	28,857	
伸銅品事業	9,415	8,687	18,102	12,743	7,084	6,872	26,700	25,800
その他	692	1,006	1,699	616	461	422	1,500	1,700
計	59,637	55,500	115,138	63,117	34,729	36,152	134,000	130,500

営業利益	2020年1-12月			2021年12月期				
	1-6月 実績	7-12月 実績	1-12月 実績	1Q-2Q (上期実績)	3Q 実績	4Q 見通し	通期見通し	
	バルブ事業	5,338	3,968	9,306	5,348	3,443	2,938	
伸銅品事業	▲200	16	▲184	460	94	94	650	650
その他	▲236	▲108	▲344	▲210	▲44	▲74	▲330	▲210
調整額	▲1,742	▲1,706	▲3,449	▲1,696	▲871	▲1,031	▲3,600	▲3,840
計	3,158	2,170	5,328	3,902	2,621	1,926	8,450	8,100

バルブ事業 国内売上計画(市場別)

単位(億円)

	【ご参考】 2019年3月期 実績	2020年 1-12月 実績	2021年12月期 計画 (11/10修正)	増減額	増減率
日本計	694	625	675	50	8%
建築設備	293	253	282	29	11%
水関連	79	83	90	7	8%
半導体関連	86	70	100	30	43%
機械装置関連	74	66	63	▲3	▲5%
石油精製・石油化学	68	64	60	▲4	▲6%
一般化学	28	24	25	1	4%
食品・製紙	24	20	20	-	-%
ガス・電力	24	20	20	-	-%
大型プロジェクト物件	18	25	15	▲10	▲40%

注) 1 各市場で採用されるバルブの材質、形状の変化やトレンドを考慮し、2018年度より各市場に集計する製品群の一部を見直ししております。

注) 2 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

注) 3 決算期変更の移行期間となる2020年12月期は4-12月の9カ月決算であったため、2020年の実績には、参考値として、1-12月(12カ月・非監査)の数値を表示しています。

バルブ事業 海外売上計画(エリア別)

単位(億円)

	【ご参考】 2019年3月期 実績	2020年 1-12月 実績	2021年12月期 計画 (11/10修正)	増減額	増減率
海外 合計	406	326	383	57	17%
アセアン・韓国他	142	125	140	15	12%
(内、半導体向け)	(20)	(24)	(28)	(8)	40%
中国	79	70	90	20	29%
(内、半導体向け)	(22)	(10)	(24)	(2)	9%
中東	36	5	5	-	-%
アジア計	256	200	245	45	23%
米州(北米、中南米)	113	87	110	23	26%
欧州・その他	36	39	38	▲1	▲3%

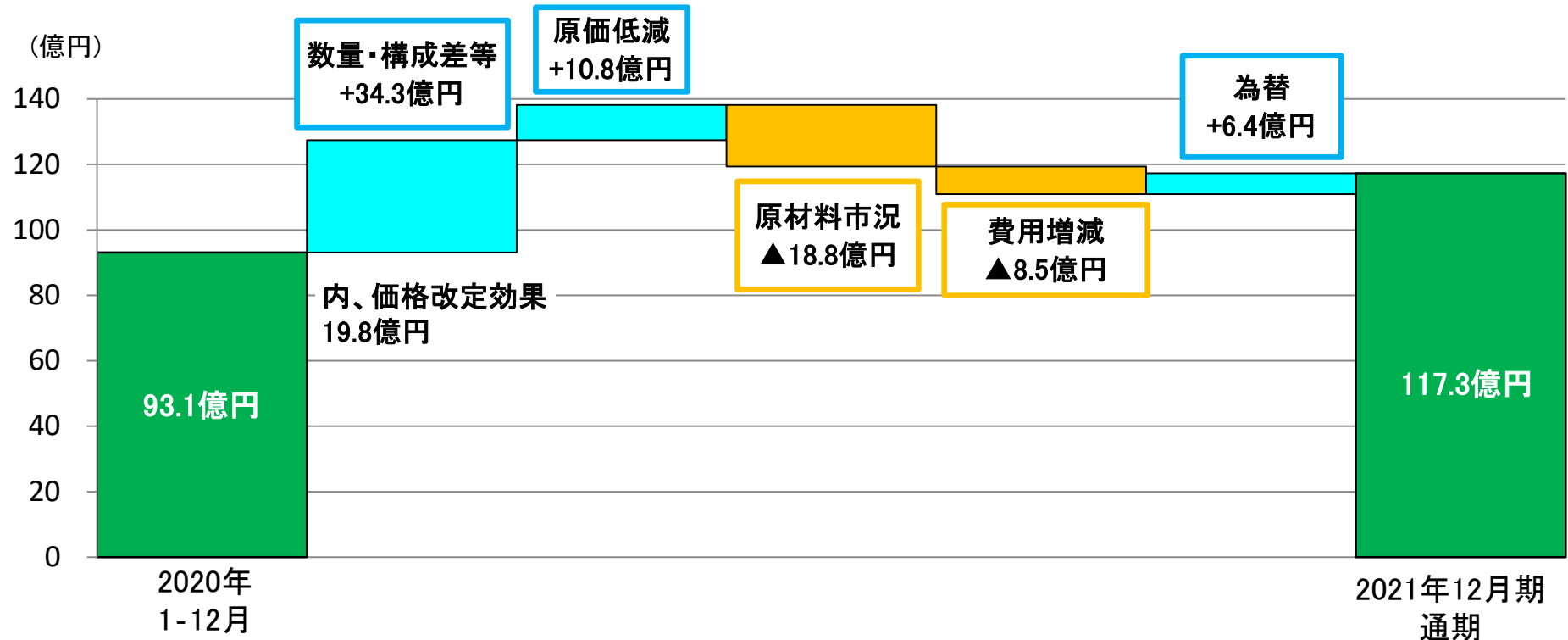
注) 1 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

注) 2 決算期変更の移行期間となる2020年12月期は4-12月の9ヵ月決算であったため、2020年の実績には、参考値として、1-12月(12ヵ月・非監査)の数値を表示しています。

バルブ事業 営業利益増減要因

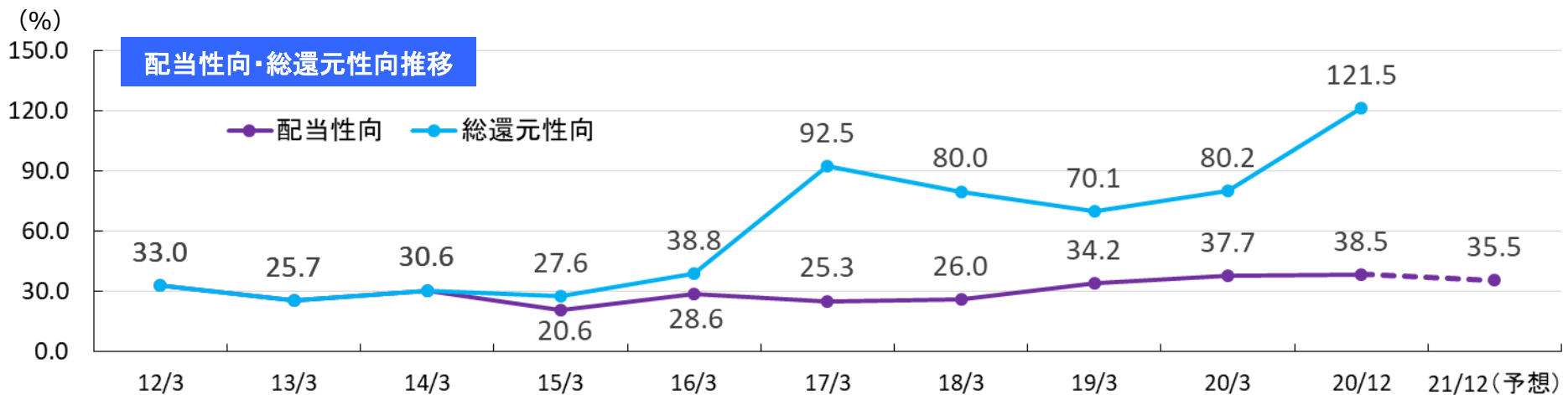
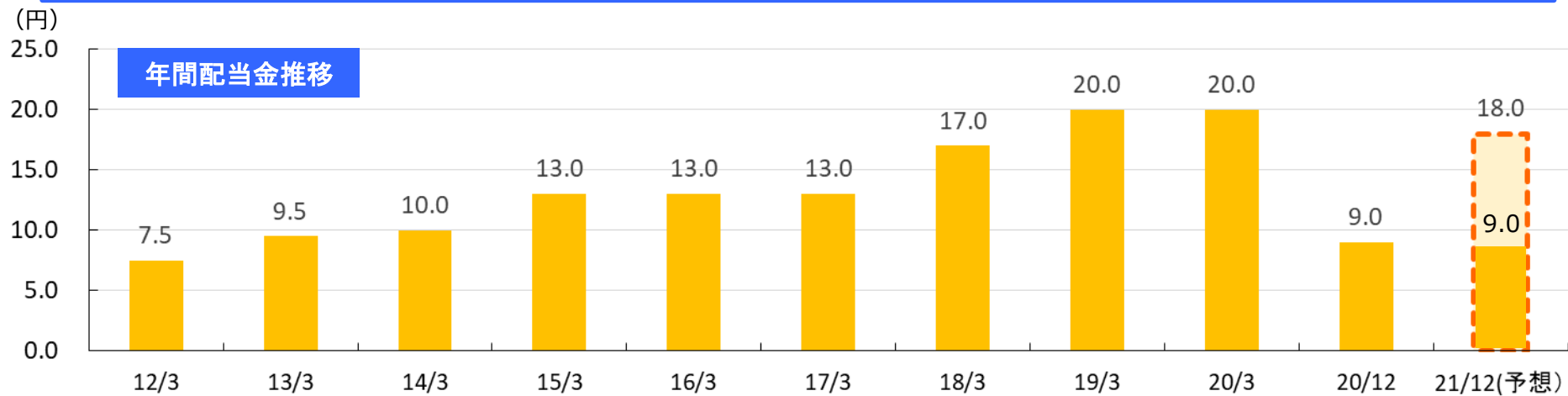
単位(百万円)

	2020年 1-12月 実績	2021年12月期 計画	増減額	増減率
営業利益	9,306	11,730	2,423	26.0%



株主還元方針

配当性向は、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準と考えている。2021年12月期は、1株当たり18円(第2四半期末9円、期末9円)の配当予想とする。連結配当性向は、親会社株主に帰属する当期純利益の35.5%となる見込み。



半導体分野への投資を決定

グループのさらなる成長を目指し、拡大する半導体分野への投資を決定。100%子会社で、半導体・FPD製造プロセス用バルブ及び継手の製造・販売を行う株式会社キッツエスシーティーの基幹工場である新田SC工場(群馬県太田市)に、新工場棟の建設及び生産設備への投資を行う。

■新工場棟の概要

所在地	群馬県太田市新田嘉祢町150-2 (新田SC工場 敷地内)
生產品目	半導体・FPD製造プロセス用バルブ及び継手
延床面積	10,500平方メートル
建屋概要	鉄筋コンクリート造 地上3階建て
稼働開始時期	2023年1月(予定)
総投資額	約32億円(生産設備への投資を含む)

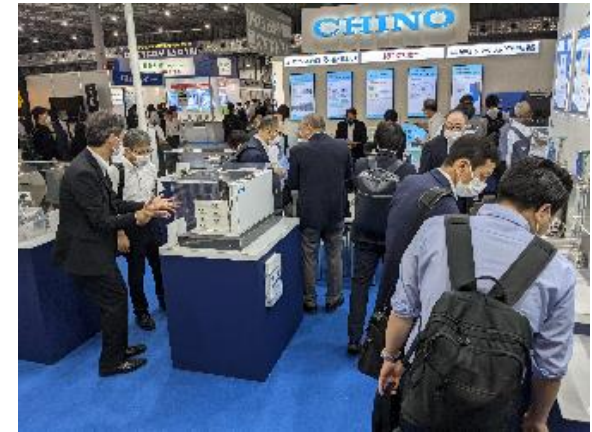
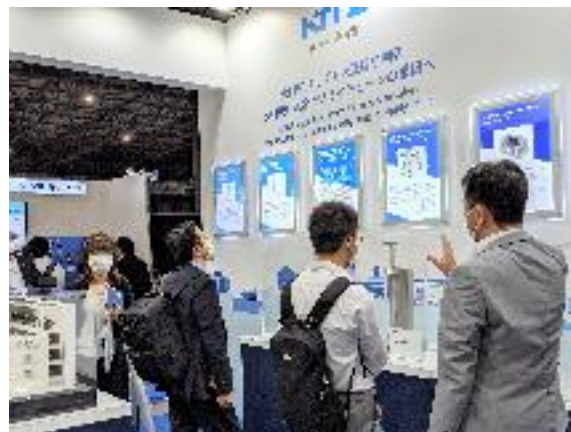


FCEXPO水素・燃料電池展2021に出展

9月29日～10月1日、東京ビッグサイトで開催された、FCEXPO水素・燃料電池展2021に出展。従来よりも小さな会場であり、また、緊急事態宣言解除前の開催であったが、展示会は3日間とも大盛況であり、水素への関心の高さが伺えた。

■キッツの技術力の認知向上に向けて

水素サプライチェーン全行程におけるキッツの技術力の認知向上を目的として出展したが、上流から下流まで幅広い分野の企業がブースを訪れた。市場参入を準備している企業などに対しても、事業をPRできた。

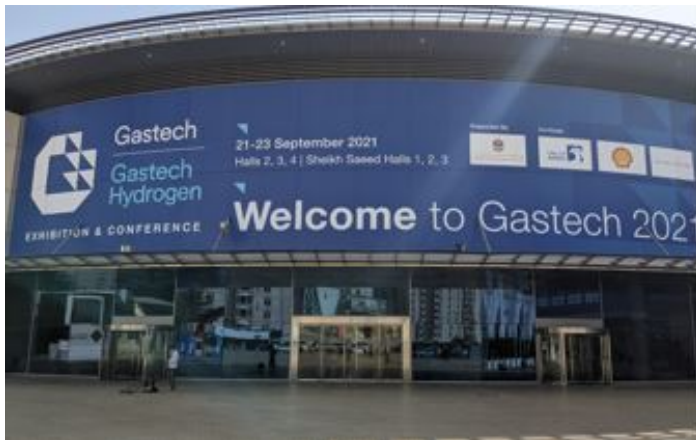


GASTECH 2021に出展

9月21～23日に Dubai World Trade Centreで開催された、GASTECH2021に出展。これは、グローバルな天然ガス/LNGのサプライチェーンなど、エネルギー関係者に向けた国際的な世界最大級のカンファレンス&展示会。2020年にSingaporeで開催予定であったが延期となり、開催地も変更となった。

■クリーンエネルギーへの取り組みをPR

コロナ禍での開催となり、来場者は限定的となってしまったものの、キッツグループのクリーンエネルギー（水素・LNG）への取り組みをPRすることができ、プレゼンスを訴求することができた。



国連グローバル・コンパクトに署名

当社は、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト(United Nations Global Compact: 以下、UNGC)」に署名し、8月23日付で参加企業として登録された。

企業理念に掲げる「企業価値の持続的な向上」を事業活動の基盤とし、これまでも持続可能な社会の実現に貢献してきたが、今回、UNGCに署名し、その企業姿勢を明確に表明することで、サステナビリティ経営をさらに強化させるとともに、グループ一体となった継続的な成長により、グローバルな社会的課題の解決に取り組む。

■ UNGC 10原則

・人権

- 原則1. 人権擁護の支持と尊重
- 原則2. 人権侵害への非加担

・労働

- 原則3. 結社の自由と団体交渉権の承認
- 原則4. 強制労働の排除
- 原則5. 児童労働の実効的な廃止
- 原則6. 雇用と職業の差別撤廃

・環境

- 原則7. 環境問題の予防的アプローチ
- 原則8. 環境に対する責任のイニシアティブ
- 原則9. 環境にやさしい技術の開発と普及

・腐敗防止

- 原則10. 強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み

WE SUPPORT



創業70周年記念ムービーを公開

当社は、創業70周年を機に企業資料の整理、保存を進めた。その際に収集された情報や写真を元に創業70周年記念ムービーを制作し、ホームページに公開(<https://www.kitz.co.jp/70th/>)。当社の70年の足跡を、歴代の社長たちの目を通してたどる内容で構成。

- ・北澤 利男社長時代(1951～1985年)
- ・清水 雄輔社長時代(1985～2001年)
- ・小林 公雄社長時代(2001～2008年)
- ・堀田 康之社長時代(2008～2021年)



創業者 北澤 利男



歴代社長

KITZ

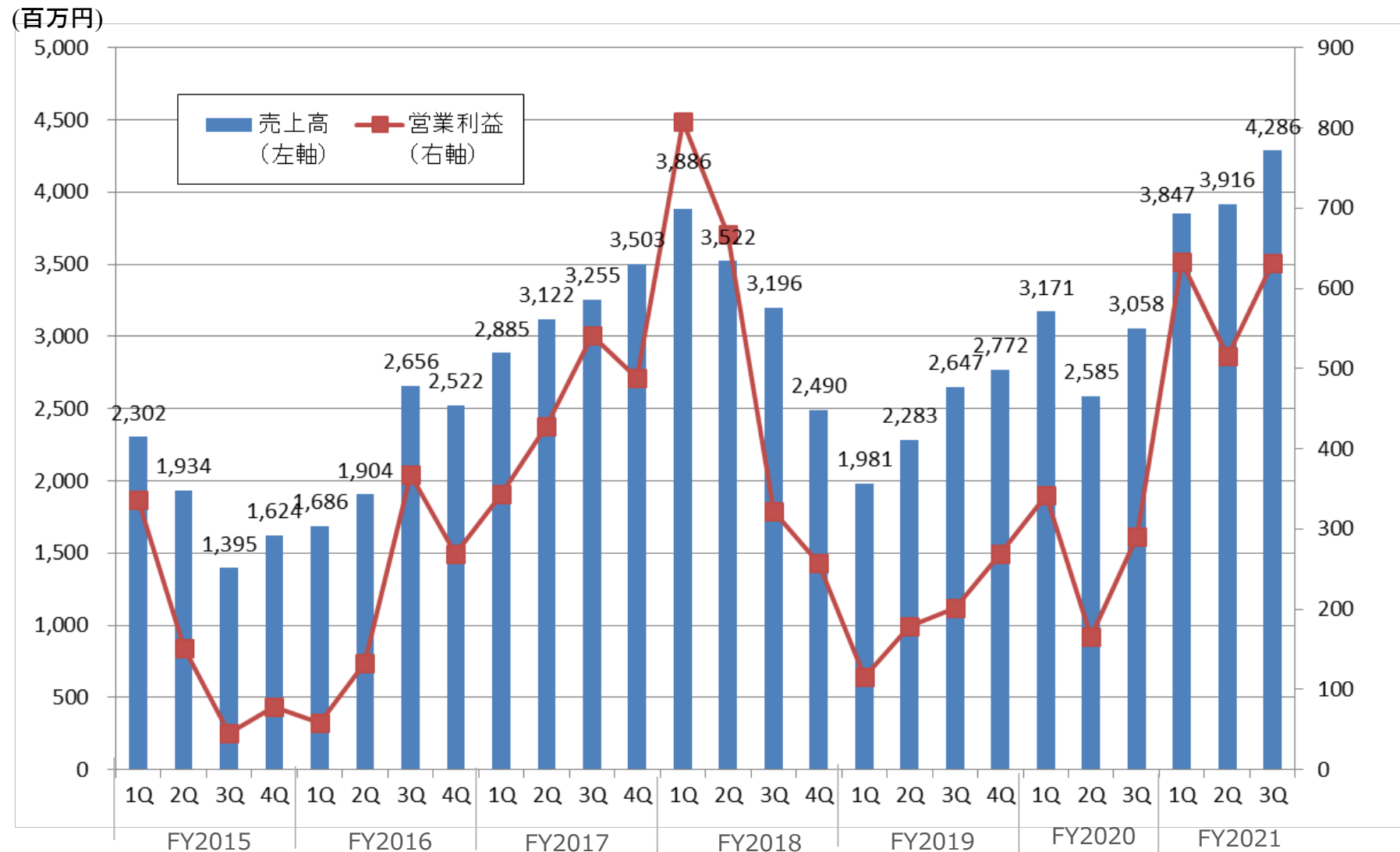
ご清聴ありがとうございました。

1 第3四半期決算の概要

2 通期業績の見通し

-補足データ-

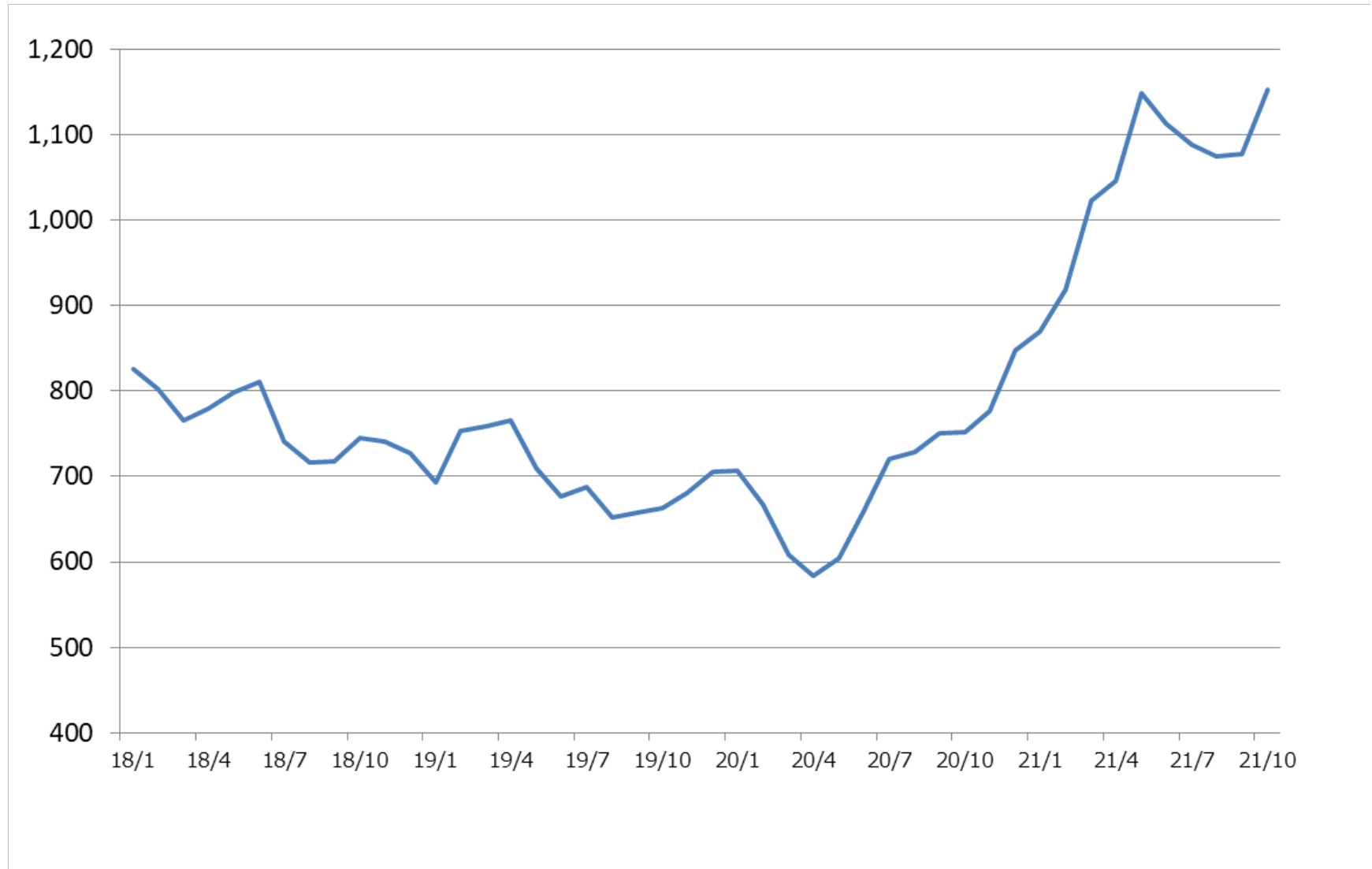
四半期業績推移(半導体向け)



- ・半導体向け製品を製造・販売する株式会社キッツエスシーティーの売上高・営業利益を四半期(3カ月)毎に表示。
- ・連結消去前のため、連結決算数値とは差異があります。

電気銅建値推移

(千円/ton)



原油価格推移

(USD/バレル)

